

平成 17 年 9 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）
及び業績予想の修正について

平成 17 年 8 月 12 日

会社名 助川電気工業株式会社 (コード番号：7711 JASDAQ)
(URL <http://www.sukegawadenki.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 百目鬼 孝一 TEL：(0293) 23 - 6411
責任者役職・氏名 取締役管理本部長 小須田 邦光

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
中間連結財務諸表等の作成基準を基礎とし、投資家等の判断を大きく誤らせない範囲におきまして、簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
固定資産の減損に係る会計基準
固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成 14 年 8 月 9 日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 6 号 平成 15 年 10 月 31 日)を当期から適用しております。
これにより税引前四半期純利益は 1 億 3 千 5 百万円減少しております。
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 9 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 10 月 1 日 ～ 平成 17 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17 年 9 月期第 3 四半期	3,545 (17.4)	402 (—)	391 (—)	37 (—)
16 年 9 月期第 3 四半期	3,019 (—)	— (—)	— (—)	— (—)
(参考)16 年 9 月期	4,255 (17.4)	345 (766.6)	317 (—)	170 (—)

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17 年 9 月期第 3 四半期	5 75	—
16 年 9 月期第 3 四半期	—	—
(参考)16 年 9 月期	25 37	—

注 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 売上高における、パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

3. 当期より四半期財務・業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率については、売上高を除き記載を省略しております。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第 3 四半期におけるわが国経済は、上半期同様、原油および鋼材等の高騰、IT 関連の在庫調整等の不安を抱えつつも、企業収益の改善、設備投資の緩やかな増加等により、景気は概ね堅調に推移いたしました。

このような状況のもと当社グループは、国内での差別化製品の投入と市場拡大戦略としての新規取引先の開拓等による受注・売上の確保、ムリ、ムラ、ムダのない製品造りと業務運営に努めました。

この結果、当第 3 四半期の売上高は 3,545 百万円、営業利益 402 百万円、経常利益 391 百万円となりました。

しかしながら、中間決算時に発生しておりました減損会計の早期適用に伴う減損損失および営業活動を停止しておりますコクブ機電協業組合の建物・跡地の撤去・防災工事に加えて、当第 3 四半期中に、過年度法人税等追徴額が発生したことにより、四半期純利益は 37 百万円に止まりました。

事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

(エネルギー関連事業)

依然として国内の電力需要が低迷しており、火力および原子力発電所向け製品および研究機関向け製品とも低調に推移したため、売上高 1,445 百万円（前年同期比 1.1%増）となりました。

(産業システム関連事業)

差別化製品である半導体および液晶製造装置向けの基板加熱機器、その他関連の温度センサー、加熱装置等が好調に推移したため、売上高 1,867 百万円（前年同期比 39.4%増）となりました。

(その他の事業)

エレベータドア用装飾版の需要減少に加え、米国産牛肉の輸入禁止の長期化の影響による既存のFC店舗の来客数の減少等により売上高 232 百万円（前年同期比 7.2%減）となりました。なお、6月末に茨城県日立市内において、当社独自技術による調理機器を使用した新しい形の飲食店開始いたしました。試験営業のため売上高にはほとんど貢献しておりません。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年9月期第3四半期	6,155	3,641	59.2	543 87
16年9月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)16年9月期	6,268	3,629	57.9	541 78

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は6,155百万円となり、前連結会計年度末に比べ112百万円減少しております。これは主にたな卸資産が減少したものであります。

また流動負債において、支払手形及び買掛金が70百万円減少しております。

3. 平成17年9月期の連結業績予想（平成16年10月1日～平成17年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A） （平成17年5月20日発表）	4,730	410	101
今回修正予想（B）	4,775	469	70
増減額（B-A）	44	59	△30
増減率（%）	0.9	14.4	△30.0
前期実績（平成16年9月期）	4,255	317	170

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 10円57銭

平成17年9月期個別業績予想数値の修正（平成16年10月1日～平成17年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A） （平成17年5月20日発表）	4,730	408	131
今回修正予想（B）	4,775	467	101
増減額（B-A）	44	59	△30
増減率（%）	0.9	14.5	△23.0
前期実績（平成16年9月期）	4,255	315	169

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 15円16銭

[業績予想に関する定性的情報等]

最近の業績動向等を踏まえ、平成17年5月20日付当社「平成17年9月期中間決算短信（連結）」および「平成17年9月期個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました平成17年9月期（平成16年10月1日～平成17年9月30日）の業績予想を修正いたします。

- (1) 売上高につきましては、既存顧客への当社のコア技術を生かした差別化製品の提案と新規顧客の開拓を進め、半導体および液晶製造装置関連の基板加熱機器等を中心に堅調に推移する見込みであります。
- (2) 経常利益につきましては、企業風土としての5Sをさらにレベルアップさせ、ムリ、ムラ、ムダのない製品造りと業務運営を徹底した結果、連結469百万円、単体467百万円となる見込みであります。
- (3) 当期純利益につきましては、過年度法人税等追徴額が発生したことに加え、FC店1店舗の撤退を予定しておりますので、連結70百万円、単体101百万円を見込んでおります。
- (4) 期末配当金につきましては、本日発表の「平成17年9月期(第68期)配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

以上

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書など

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成17年9月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成16年9月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成16年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	1,039,921	—	—	—	1,056,615
2. 受取手形及び売掛金	1,612,413	—	—	—	1,530,768
3. たな卸資産	746,785	—	—	—	845,368
4. その他	90,731	—	—	—	92,016
貸倒引当金	△5,419	—	—	—	△5,500
流動資産合計	3,484,433	—	—	—	3,519,269
II 固定資産					
1. 有形固定資産	1,837,869	—	—	—	1,972,763
2. 無形固定資産	40,504	—	—	—	36,511
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	399,117	—	—	—	354,002
(2) その他	416,802	—	—	—	408,955
貸倒引当金	△23,426	—	—	—	△23,426
固定資産合計	2,670,867	—	—	—	2,748,806
資産合計	6,155,300	—	—	—	6,268,076
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	563,650	—	—	—	633,876
2. 短期借入金	1,000,000	—	—	—	940,000
3. 未払法人税等	83,404	—	—	—	124,752
4. その他	299,608	—	—	—	396,614
流動負債合計	1,946,662	—	—	—	2,095,243
II 固定負債					
1. 退職給付引当金	367,752	—	—	—	325,966
2. その他	199,443	—	—	—	216,949
固定負債合計	567,195	—	—	—	542,915
負債合計	2,513,858	—	—	—	2,638,159
(資本の部)					
I 資本金	921,100	—	—	—	921,100
II 資本剰余金	1,164,236	—	—	—	1,164,236
III 利益剰余金	1,515,750	—	—	—	1,528,060
IV その他有価証券評価差額金	44,328	—	—	—	18,425
V 自己株式	△3,972	—	—	—	△1,905
資本合計	3,641,442	—	—	—	3,629,916
負債及び資本合計	6,155,300	—	—	—	6,268,076

(注) 当期より四半期財務・業績の開示を行っているため、前年第3四半期実績及び対前年第3四半期比増減率は記載しておりません。

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成17年9月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年9月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成16年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	3,545,650	3,019,583	526,067	17.4	4,255,652
II 売上原価	2,598,586	—	—	—	3,153,979
売上総利益	947,064	—	—	—	1,101,672
III 販売費及び一般管理費	544,475	—	—	—	756,339
営業利益	402,588	—	—	—	345,333
IV 営業外収益	9,365	—	—	—	19,619
V 営業外費用	20,472	—	—	—	47,484
経常利益	391,481	—	—	—	317,467
VI 特別利益	—	—	—	—	1,867
VII 特別損失	171,448	—	—	—	102,870
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	220,032	—	—	—	216,464
法人税、住民税及び 事業税	158,191	—	—	—	140,506
法人税等調整額	△26,788	—	—	—	△94,058
過年度法人税等追徴額	50,690	—	—	—	—
四半期(当期) 純利益	37,939	—	—	—	170,017

(注) 当期より四半期財務・業績の開示を行っているため、前年第3四半期実績及び対前年第3四半期比増減率は売上高を除き記載しておりません。

3. 販売実績

(単位：千円、%)

製品区分	当四半期 (平成17年9月期 第3四半期)		前年同四半期 (平成16年9月期 第3四半期)		比較増減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
エネルギー関連事業	1,445,144	40.8	1,429,166	47.3	15,977	1.1
産業システム関連事業	1,867,986	52.7	1,339,748	44.4	528,238	39.4
その他の事業	232,519	6.5	250,668	8.3	△18,149	△7.2
小 計	3,545,650	100.0	3,019,583	100.0	526,067	17.4

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。